

文化に関するアンケート結果

県では、誰もが誇りや愛着を持てる滋賀を目指して、県民の皆さんとともに魅力ある滋賀の文化を育むために制定した「滋賀県文化振興条例」に基づき、文化振興施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、文化振興に関する長期的な目標や施策の方向等を定めた「滋賀県文化振興基本方針」を平成23年3月に策定しました。

つきましては、策定しました基本方針の重点施策の評価等を検証するにあたって、県民の皆さんの文化に関するご意向を把握したく、アンケートを実施しました。

★調査時期：平成26年12月

★対象者：県政モニター396人

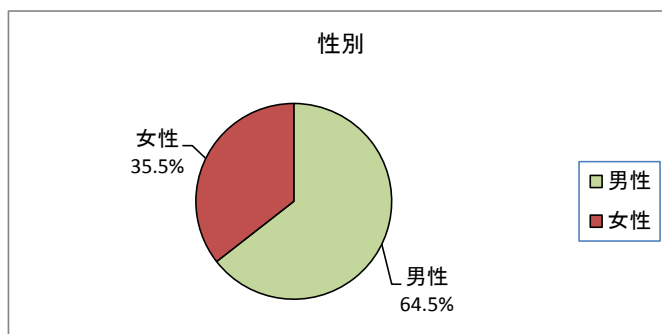
★回答数：301人（回収率76.0%）

★担当課：文化振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

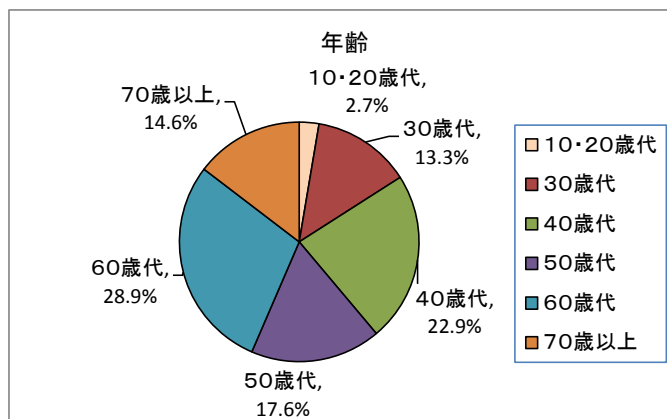
あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	194	64.5
女性	107	35.5
合計	301	100.0



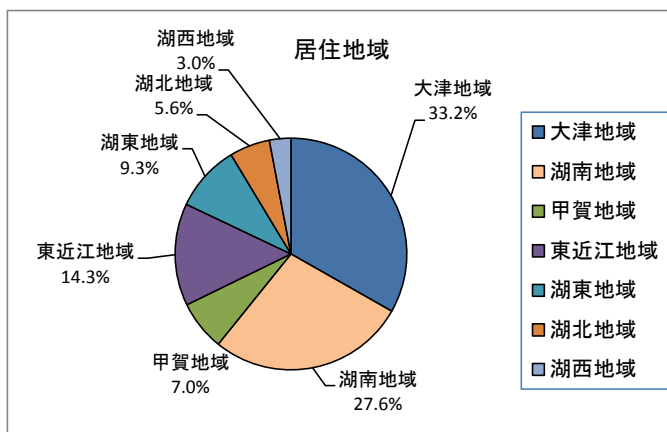
あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	8	2.7
30歳代	40	13.3
40歳代	69	22.9
50歳代	53	17.6
60歳代	87	28.9
70歳以上	44	14.6
合計	301	100.0



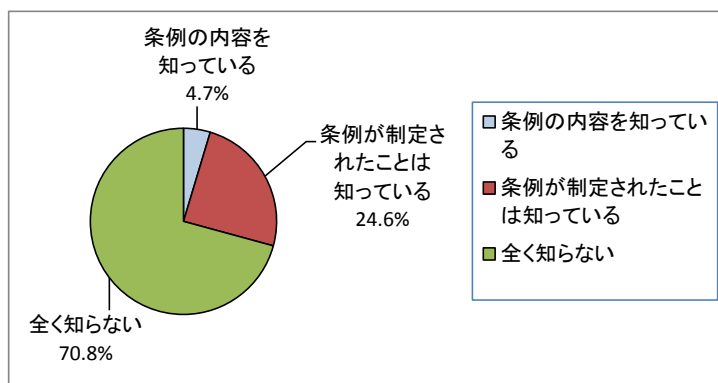
あなたのお住まいの市町名を記入してください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	100	33.2
湖南地域	83	27.6
甲賀地域	21	7.0
東近江地域	43	14.3
湖東地域	28	9.3
湖北地域	17	5.6
湖西地域	9	3.0
合計	301	100.0



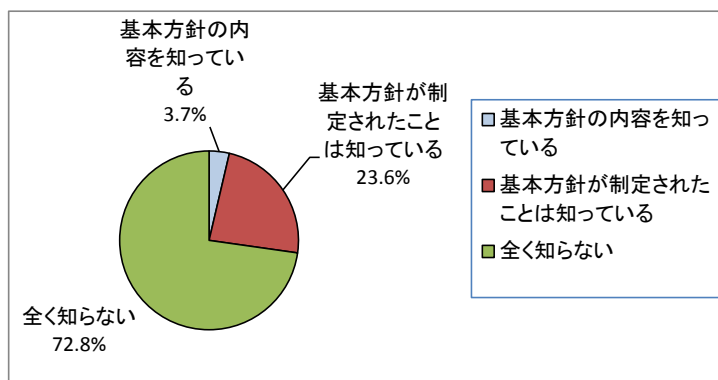
【問1】滋賀県では、平成21年7月に「滋賀県文化振興条例」を公布・施行しました。
あなたはこの条例の制定について知っていますか。

項目	人数(人)	割合(%)
条例の内容を知っている	14	4.7
条例が制定されたことは知っている	74	24.6
全く知らない	213	70.8
合計	301	100.0



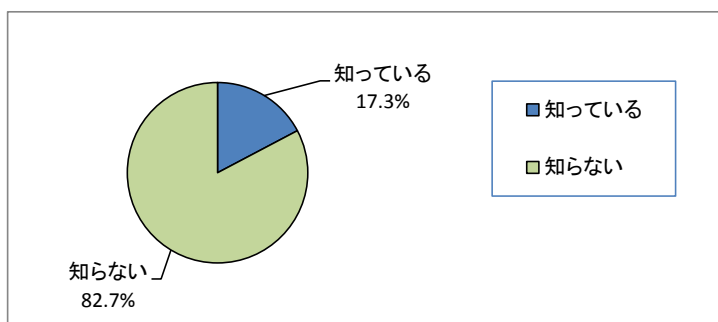
【問2】滋賀県では、平成23年3月に「滋賀県文化振興基本方針」を策定しました。
あなたはこの基本方針の策定について知っていますか。

項目	人数(人)	割合(%)
基本方針の内容を知っている	11	3.7
基本方針が制定されたことは知っている	71	23.6
全く知らない	219	72.8
合計	301	100.0



【問3】滋賀県では、文化振興条例の制定を機に成安造形大学との連携により「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークを作成し、県内で行われている様々な文化活動のチラシ等への使用を呼びかけています。
あなたは「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークを知っていますか。

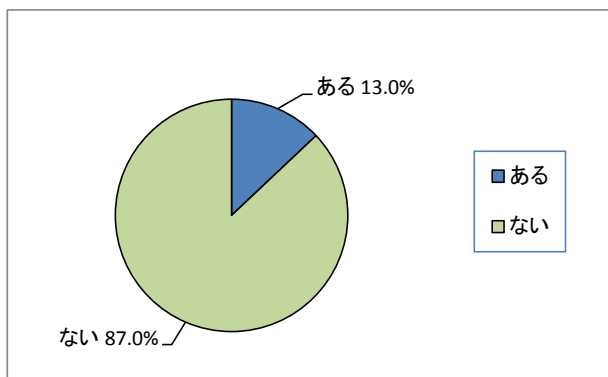
項目	人数(人)	割合(%)
知っている	52	17.3
知らない	249	82.7
合計	301	100.0



【問4】滋賀県では、文化情報発信サイトである「滋賀文化のススメ」のホームページを運営し、県内のイベント情報や文化芸術団体、アーティストの情報や文化活動に関する助成金の情報等をインターネットで発信しています。

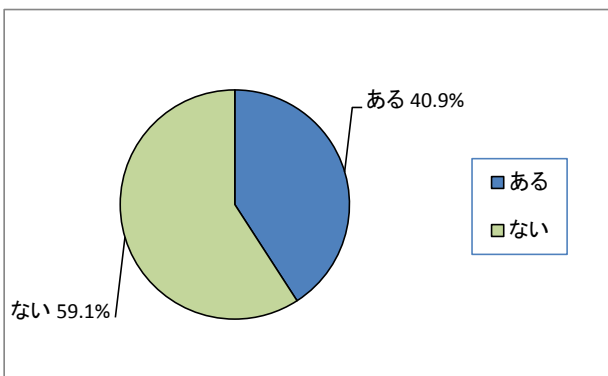
あなたはこの1年間で「滋賀文化のススメ」を閲覧したことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	39	13.0
ない	262	87.0
合計	301	100.0



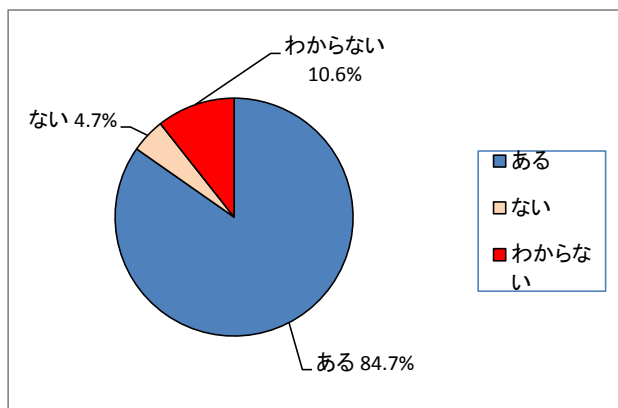
【問5】滋賀県では、県内のホール、博物館、ギャラリーなどのイベント情報を掲載する文化情報誌「れいかる」を発行し、滋賀県内の市役所・町役場、文化施設、図書館や県内各金融機関に設置し無料配布しています。あなたはこの1年間で「れいかる」を読んだことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	123	40.9
ない	178	59.1
合計	301	100.0



【問6】滋賀県には、国内外に誇ることができる文化(多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など)があると思いますか。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	255	84.7
ない	14	4.7
わからない	32	10.6
合計	301	100.0

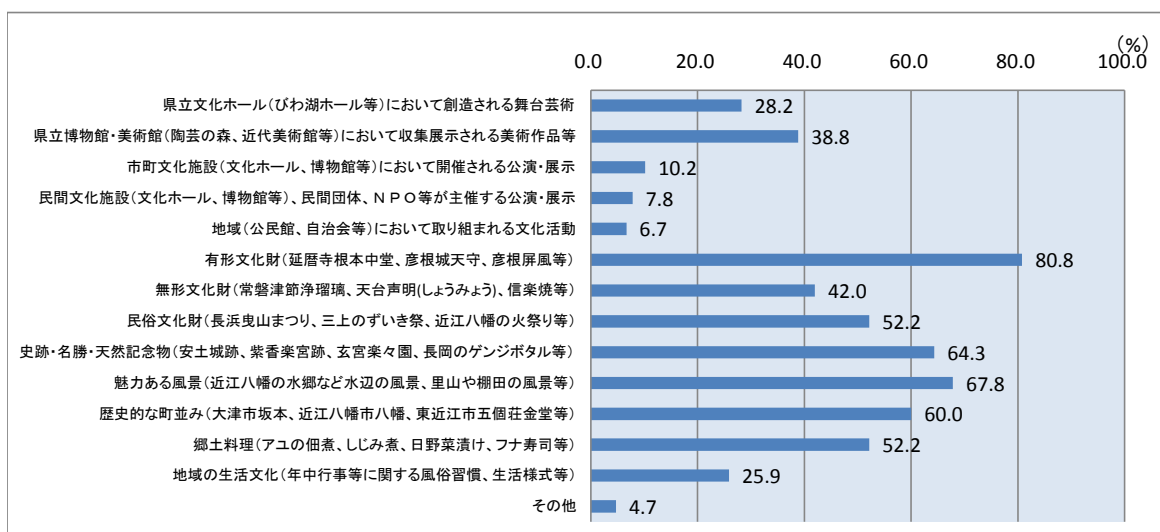


【問7】(問6で「1. ある」を選択した方のみ)

あなたが国内外に誇ることができる滋賀の文化とはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

また、具体的な名称があれば「具体的な名称」欄に3つ程度記入してください。

項目	人数(人)	割合(%)
県立文化ホール(びわ湖ホール等)において創造される舞台芸術	72	28.2
県立博物館・美術館(陶芸の森、近代美術館等)において収集展示される美術作品等	99	38.8
市町文化施設(文化ホール、博物館等)において開催される公演・展示	26	10.2
民間文化施設(文化ホール、博物館等)、民間団体、NPO等が主催する公演・展示	20	7.8
地域(公民館、自治会等)において取り組まれる文化活動	17	6.7
有形文化財(延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等)	206	80.8
無形文化財(常磐津節浄瑠璃、天台声明(しょうみょう)、信楽焼等)	107	42.0
民俗文化財(長浜曳山まつり、三上のずいき祭、近江八幡の火祭り等)	133	52.2
史跡・名勝・天然記念物(安土城跡、紫香楽宮跡、玄宮楽々園、長岡のゲンジボタル等)	164	64.3
魅力ある風景(近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等)	173	67.8
歴史的な町並み(大津市坂本、近江八幡市八幡、東近江市五個荘金堂等)	153	60.0
郷土料理(アユの佃煮、しじみ煮、日野菜漬け、フナ寿司等)	133	52.2
地域の生活文化(年中行事等に関する風俗習慣、生活様式等)	66	25.9
その他	12	4.7
回答者数	255	

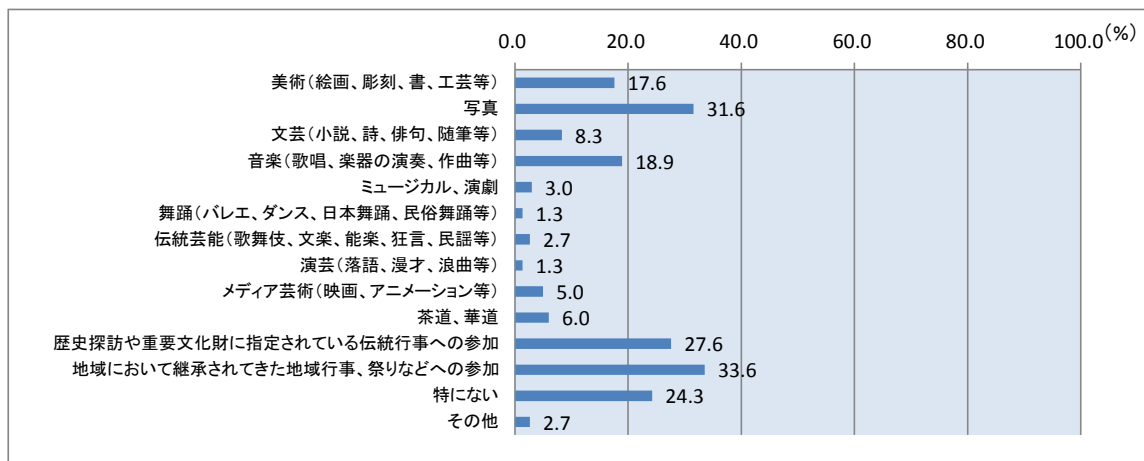


★具体的な名称

三井寺大門、石山寺山門、彦根城天守閣
 えり 追いさで 沖掬い
 小倉遊亀、ヴァーリズ建築物、草津本陣
 湖東三山 江東三山、彦根城玄宮園・お浜御殿、鎌刃城などの多くの山城
 延暦寺、彦根城、フナ寿司
 琵琶湖
 大津祭
 「秀真伝(ほつまつたゑ)」
 滋賀県立近代美術館に収蔵・展示されている小倉 遊亀の作品
 竹生島、湖北の夕日
 長浜市
 銅鐸博物館、中仙道・朝鮮人街道の社寺歴史めぐり
 県立近代美術館の小倉遊亀コーナー、彦根城、フナずし
 下余呉の太鼓踊りなど
 義仲寺、近江神宮
 淡水真珠養殖発祥の地、近代城郭の先駆け安土城跡、
 川端(かばた)
 小谷城、佐和山城、瀬田唐橋、矢橋等を、歴史的融合
 瀬田の唐橋 京阪電車(石山寺坂本線)
 彦根城、浮御堂及び石山寺 等

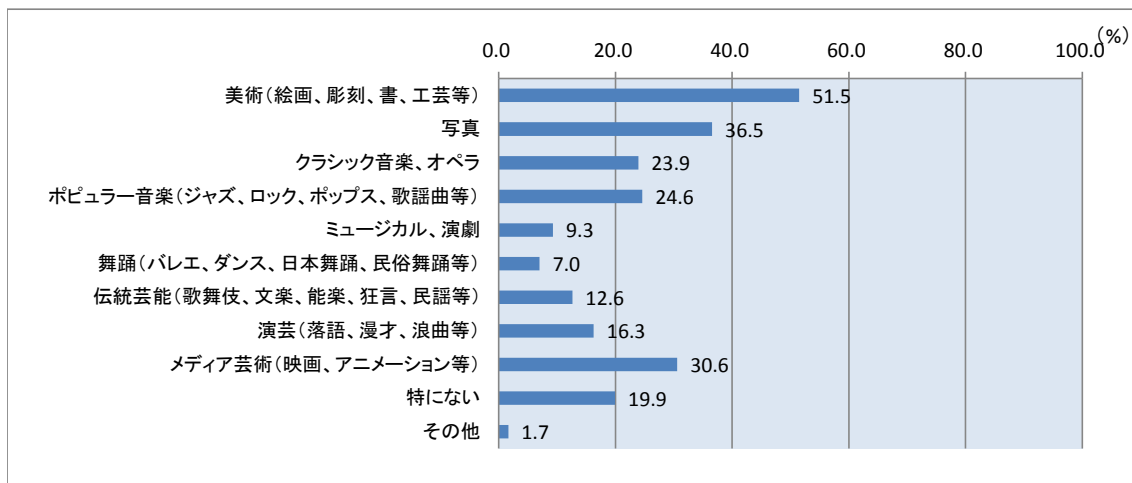
【問8】以下の文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。
(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	53	17.6
写真	95	31.6
文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	25	8.3
音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	57	18.9
ミュージカル、演劇	9	3.0
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	4	1.3
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	8	2.7
演芸(落語、漫才、浪曲等)	4	1.3
メディア芸術(映画、アニメーション等)	15	5.0
茶道、華道	18	6.0
歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	83	27.6
地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	101	33.6
特にない	73	24.3
その他	8	2.7
回答者数	301	



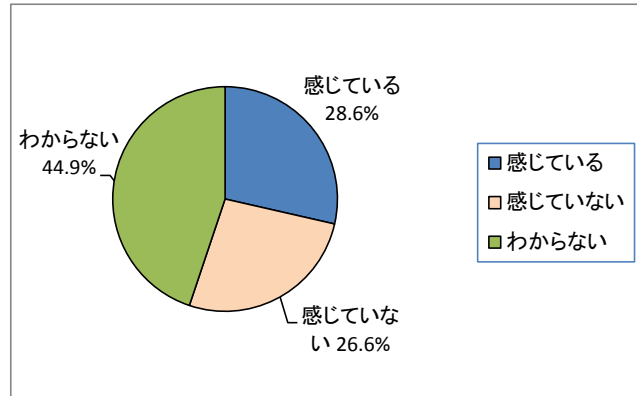
【問9】芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。
(回答チェックはいくつでも可)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	155	51.5
写真	110	36.5
クラシック音楽、オペラ	72	23.9
ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	74	24.6
ミュージカル、演劇	28	9.3
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	21	7.0
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	38	12.6
演芸(落語、漫才、浪曲等)	49	16.3
メディア芸術(映画、アニメーション等)	92	30.6
特にない	60	19.9
その他	5	1.7
回答者数	301	



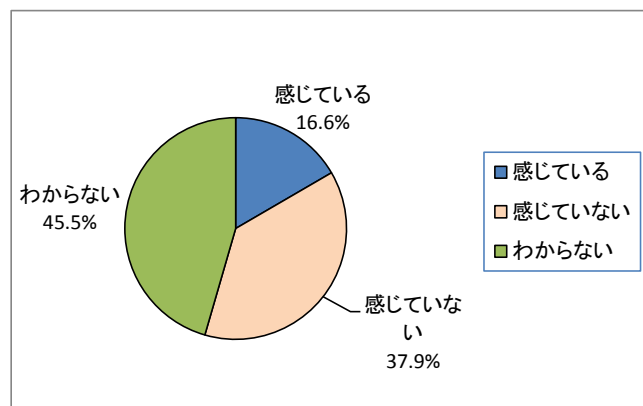
【問10】滋賀県では、子どもが本物の文化に触れる機会の充実を重点施策として取り組んでいます。学校の授業での文化・芸術体験学習、文化ホール等の文化施設で提供されている子ども向けプログラム、地域での取組などにより、子ども(中学生以下)が文化・芸術を体験する機会が確保されていると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	86	28.6
感じていない	80	26.6
わからない	135	44.9
合計	301	100.0



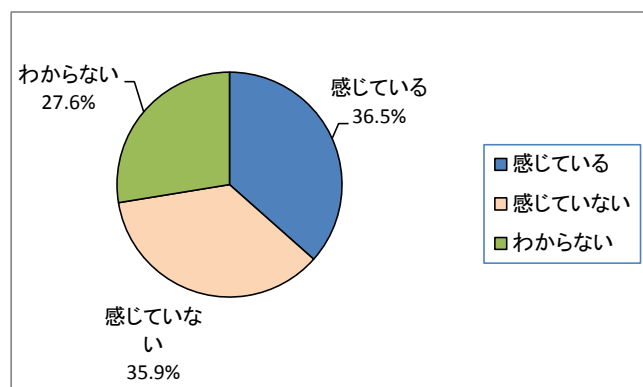
【問11】あなたは、この1年間で滋賀県内において、若手の芸術家(概ね40歳まで、ただし芸術の分野によって若手とされる年齢の範囲が40歳以上の場合はその年齢まで)による展覧会や演奏会等の発表の場などが活発に行われていると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	50	16.6
感じていない	114	37.9
わからない	137	45.5
合計	301	100.0



【問12】あなたは、滋賀県内の文化ホールや美術館等の文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた芸術(全国・世界レベルの舞台芸術、芸術性の高い展覧会など)に触れることができると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	110	36.5
感じていない	108	35.9
わからない	83	27.6
合計	301	100.0



問13 その他、滋賀県における文化振興施策の推進に向けて、ご意見等がありましたらお聞かせください。(400字以

文化振興にいろいろ努力をされているようですが、正直ほとんど知りませんでした。どちらかというと興味のあるほうだと感じていますので、世間一般的には同様の意見ではないでしょうか。また、仕方のないことですが、大きなイベントは湖南地域に集中している印象があり、湖北地域の住民である私は足が遠のきます。

問10「子どもが文化・芸術を体験する機会が確保」の基準には個人差が大きいのと思います。この確保の上限は無いことから、各子どもが持つ才能や素質を文化施設で大いに伸ばし、滋賀県から全国へ世界へ躍進されるのを期待し応援いたします。

駅など人の往来が多い場所への告知。観光案内が寂しい。映像化

もっと若手芸術家を支援できる場所の提供と情報発信が必要でバックアップ体制を整えてチャレンジできるよう官民あげて取り組めないでしょうか？

色々なホールや会館が県内にありますが、それぞれが独自の活動をするだけでなく、中長期的なストーリーの基に連携した企画を展開して欲しいと思います。

人間にとって、文化に触れることは人間性を豊かにするため大事だと思います。子供の時から、色々な文化に触れることは文化に興味を持つ人が多くなり、伝統文化を後世に伝承することにも繋がると思います。

何年か前に、県立近代美術館、佐川美術館、MIHOそれに成安造形大学がコラボで芸術鑑賞会的な取り組みをしたように記憶しています。ただし、それ以後そのような取り組みが継続しているかわかりません。ぜひともそういう活動を発展させて欲しいと思います。また、それらの活動を県民によく分かるようにPRして欲しい。

子どもに対する文化振興策は、「本物」に触れる機会を提供するだけでなく、「本物」の素晴らしさを受け取る感受性を育む教育と両輪で進めるべきだと思う。

芸術的なレベルは低くても、自分が創作をする活動に参加しています。国内外に誇れなくても、身の丈のレベルの文化に触れ、参加、していく機会が増えるとういのは、と感じています。

各家庭単位ではなかなか本物の文化に触れる機会を作ることは経済的にも時間的にも難しい事が多いので、学校や保育園・幼稚園でそういう機会をもっと作ってくれれば嬉しいです。

「文化」という語彙に高い芸術性が不可欠との感じを受けがちですが、滋賀県民全体の文化度が高いとみなされる状態は、日常の生活様態に存在すると思います。地域の活動や町内会の行事に参加することから始まり、日々の暮らしのみにカリカリしているのではなく、ゆったりと時間が流れていると感じられるところにあるはず。県民自身の意識の醸成とそれをサポートする行政の裏付けが必要です。「近江というあわあわとした国名を口ずさむだけでも、私には詩がはじまっているほど、この国がすきである。」との司馬遼太郎の文から滋賀県の立ち位置、あるべき姿・文化が始まります。

様々な文化があり、優劣はつけ難いことが容易に予想されます。文化振興を持続していくために、その文化がお金を生むかどうかという視点が重要ではないでしょうか。例えば、彦根城や賤ヶ岳といった戦国・江戸時代に関連した文化財は一定のファンが見込まれ、観光業と連動するのがよさそうです。ミュージカルや演劇といったものはお金をすぐには生まなさそうですが、教育・の面から、あるいは多様なライフスタイルの実現という雇用の面から、人生を豊かにするという面から費用対効果を考えられそうです。このようにできるだけ、税収の増やしや、福利厚生への肩代わりしてくれるものは、その観点から振興策を考え、できるだけお金をつかわずにすんだらよいと思います。それ以外の、お金になりそうになく、教育効果もはっきりしない、ものにこそ、税金を投入し、かつ、活動の自由を制限して、行政のコントロール下におくのがよいのではないのでしょうか。

びわ湖ホールを滋賀県のホールととらえず、近畿圏の芸術ホールととらえて活用してほしい。

どのような人気イベントを行っても、滋賀県民だけで満席にすることはできないと思う。

大阪、京都と張り合うのではなく、協調してイベントを計画してほしい。

なかなか難しいとは思いますが、舞台芸術鑑賞のチケット代が少しでも安くなれば、ホールに足を運ぶ人も増えるのではないかと考えます。

私自身、もっともっと芸術に触れたいと思っている反面、チケット代の事を考えると、いつも我慢してしまっています。

和太鼓クラブは県内でも大小あわせてたくさんあると思いますがまとまった紹介メディアがなく鑑賞機会もほとんどないのが実情です。和楽器が奏でる音は障害者や高齢者の脳内活性化にも有効との話もあり、何らかの方法で情報を発信していただき、和太鼓鑑賞ができればいいなと思います。

私は地域の寺社や観光名所の案内のボランティア活動をしており、滋賀県の文化の紹介に微力ながら協力している。滋賀県における文化振興施策の推進にはいろいろの角度で取り組まれていると思うが、ボランティア活動の支援にも目を向けて頂きたい。

私はびわ湖ホールが大好きです。大阪・京都にも素敵なホールはありますが、一番いいホールだと思います。滋賀出身のアーティストもたくさんいますが、関西圏で活躍されている方が多いので、滋賀県だけでなく、近畿で文化振興を盛り上げてほしいです。滋賀は京都に比べて素材がすごい、歴史的に見ても遜色ないのに、もっと湖国のよさをアピールする・見せる工夫がすくなく感じます。

文化芸術については、京都に近いこともあり、残念ながら集まってこないのは地方都市全般の問題なのかもしれません。それでも、比叡山系、湖東三山などの歴史的建造物、信楽焼などの技術など、近江文化の核となりえるものはなくはありませんので、有機的に発展してくれればよいと感じています。また、大学を中心とした若い文化の発展に期待しています。